

平成21年度版

瀬戸市環境基本計画年次報告書

平成20年度の環境の状況並びに市が講じた施策の状況

瀬 戸 市

1 大気、悪臭の状況

1. 大気汚染に関する目標及び適合状況

市は大気環境の状況を常時監視するため、古瀬戸の大気汚染測定所において、大気汚染物質の測定や気象観測を行っているほか、浮遊粒子状物質の測定をしています。

大気汚染については、環境基準を市の具体的な数値目標としています。

・大気汚染に関する環境基準適合状況(二酸化硫黄、二酸化窒素、浮遊粒子状物質については長期的評価による。)

	二酸化硫黄 (SO ₂)	二酸化窒素 (NO ₂)	光化学オキシダント (O _x)	浮遊粒子状物質 (SPM)
評価方法	1日平均値の高い方から2%の範囲内にあるものを除外した値が、0.04ppm以下に維持されること。ただし、1日平均値が0.04ppmを超えた日が2日以上連続しないこと。	年間にわたる1日平均値のうち低い方から98%に相当する値が、0.06ppm以下に維持されること。	年間を通じて、1時間値が0.06ppm以下に維持されること。ただし、5時から20時の昼間時間帯について評価する。	1日平均値の高い方から2%の範囲内にあるものを除外した値が、0.10mg/m ³ 以下に維持されること。ただし、1日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日が2日以上連続しないこと。
適否	○	○	×	○

測定場所：瀬戸市大気汚染測定所

・主な大気汚染物質の経年変化

項目	単位	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	
瀬戸市 大気汚染 測定所	二酸化硫黄	ppm	0.008	0.011	0.012	0.007	0.009	0.009	0.015	0.015	0.026	0.008
	二酸化窒素	ppm	0.028	0.026	0.028	0.030	0.026	0.028	0.027	0.026	0.026	0.022
	光化学オキシダント	ppm	0.023	0.035	0.034	0.033	0.053	0.055	0.036	0.032	0.035	0.050
	浮遊粒子状物質	mg/m ³	0.057	0.073	0.077	0.056	0.051	0.051	0.056	0.057	0.063	0.045

浮遊粒子状物質、二酸化硫黄は日平均値の2%除外値、二酸化窒素は日平均値の年間98%値、光化学オキシダントは昼間の年平均値

市内での大気汚染の状況は、長期的な評価を中心に環境基準と比較すると、光化学オキシダントを除き環境基準を年間通して満たしています。

2. 悪臭に関する状況

公害苦情のうち悪臭は87件でした。特に窓を開ける時期（春や秋ごろ）に苦情が増える傾向にあります。また、苦情のつど発生源に指導を行っているが畜産業によるものなど抜本的な解決策がないこともあります。

このため、悪臭発生施設の届出指導及び立ち入り指導を行っています。なお、適正処理をしても梅雨や夏場は悪臭が強くなるため、今後も対応していく必要があります。

また、瀬戸は昔から窯業が盛んな土地でした。そのため窯入れの際のにおいも最近では苦情原因となっています。

・愛知県公害防止条例に基づく悪臭関係工場等届出状況（平成21年3月31日現在）

施設	豚房施設	牛房施設	シェルモールド法による鋳物製造業	し尿処理場	下水終末処理場	合計
悪臭関係工場等数	5	4	1	1	2	13

3. 具体的な取り組みについて

以下のような取り組みを行っています。

○大気質に関する取り組み

- ・ばい煙発生施設の立ち入り調査
- ・大気汚染物質の常時監視（瀬戸市大気汚染測定所）
- ・定期的なダイオキシン類調査
- ・公共交通機関の利用促進（コミュニティバス含む）
- ・環境負荷の低い家電製品や自動車の紹介

○悪臭に関する取り組み

- ・悪臭発生施設の届出指導
- ・悪臭発生施設への立ち入り調査及び指導
- ・窯業用焼成炉の排出ガスの悪臭逋減技術の調査及び紹介
- ・公害苦情パトロールの強化
- ・小型焼却炉の適正使用の指導

2 水質の状況

1. 主要河川の水質結果と水質基準（目標値）の適合状況

市内には庄内川、瀬戸川、矢田川（山口川）、水野川、蛇ヶ洞川といった主要河川があります。この中で環境基準が定められているのは庄内川と矢田川であり、庄内川は水野川の合流点まではB類型、その下流はD類型であり、矢田川はD類型です。

本市では環境基本計画において、類型指定されている河川は環境基準より厳しく、それ以外の主要河川においても類型を当てはめるなど独自に目標を掲げております。矢田川はC類型、瀬戸川はD類型、水野川はC類型、蛇ヶ洞川はA類型を目標にしています。

(1) pH（年平均値） [単位なし]

類型	C	D	C	A
水質観測点	矢田川	瀬戸川	水野川	蛇ヶ洞川
	瀬戸川合流点	まんじ橋	東谷東橋	庄内川合流点
環境目標	6.5～8.5	6.0～8.5	6.5～8.5	6.5～8.5
測定値	7.7	7.6	7.7	7.4
目標適合	◎	◎	◎	◎
解説	水溶液の性質（酸性、アルカリ性）の程度を表す			

(4) 溶存酸素（年平均値） [mg/L]

類型	C	D	C	A
水質観測点	矢田川	瀬戸川	水野川	蛇ヶ洞川
	瀬戸川合流点	まんじ橋	東谷東橋	庄内川合流点
環境目標	2以上	2以上	5以上	7.5以上
測定値	10	10	11	10
目標適合	◎	◎	◎	◎
解説	水の中に溶け込んでいる酸素の量をいい、溶存酸素が低いと、魚が酸欠で死に、水が腐りやすくなります			

(2) BOD（75%値） [mg/L]

類型	C	D	C	A
水質観測点	矢田川	瀬戸川	水野川	蛇ヶ洞川
	瀬戸川合流点	まんじ橋	東谷東橋	庄内川合流点
環境目標	8以下	8以下	5以下	2以下
測定値	2.3	2.8	1.9	1.2
目標適合	◎	◎	◎	◎
解説	微生物が水中の汚れを食べるとき、使う酸素の量をいい、水の汚れの程度を表す			

(5) 大腸菌数（年平均値） [MPN/100mL]

類型	C	D	C	A
水質観測点	矢田川	瀬戸川	水野川	蛇ヶ洞川
	瀬戸川合流点	まんじ橋	東谷東橋	庄内川合流点
環境目標	設定なし	設定なし	設定なし	1,000以下
測定値	1,100	46,000	9,400	4,500 6,400 1,600 1,600
目標適合	—	—	—	△
解説	水中の大腸菌数を測ることで、し尿による汚染の程度を表す			

(3) SS（年平均値） [mg/L]

類型	C	D	C	A
水質観測点	矢田川	瀬戸川	水野川	蛇ヶ洞川
	瀬戸川合流点	まんじ橋	東谷東橋	庄内川合流点
環境目標	100以下	100以下	50以下	25以下
測定値	3	4	2	2
目標適合	◎	◎	◎	◎
解説	浮遊物質の量をいい、水の中に含まれる小さなごみをいう			

(6) 結果の評価

蛇ヶ洞川の大腸菌数は季節的な変動が大きく、目標は達成しておりません。それ以外の項目については目標値を達成しております。

2. 生活排水の処理率の向上

本市では、河川の水質汚濁の改善や快適な生活環境の保全を図るため、公共下水道の整備をはじめ、合併浄化槽の設置費用の一部補助、生活排水対策の啓発活動など実施しております。

生活排水処理率は次の計算式で算出することができます。

$$\text{生活排水処理率} = \text{下水道処理率} + \text{合併浄化槽処理率}$$

	下水道 処理率	合併浄化槽 処理率	生活排水 処理率	目標達成
平成 20 年度	43.2	15.0	58.2	×
目標値 平成 22 年度	—	—	69.0	

3. 水生生物調査（瀬戸市理科研究会との合同調査）

昭和 47 年より、瀬戸市内の小中学校の理科担当の先生たちの団体である瀬戸市理科研究会に協力をいただいて、市内の主要河川に生息する水生生物の調査を行っています。

・各河川の魚類

瀬戸川	10 種類	オイカワ、カワムツ、コイ、ドジョウ、ホトケドジョウ、カワヨシノボリ、タモロコ、ヒゴイ、ブルーギル、フナ
矢田川	9 種類	オイカワ、カワムツ、ドジョウ、カワヨシノボリ、アブラハヤ、タモロコ、モツゴ、メダカ、カマツカ
水野川	9 種類	オイカワ、カワムツ、カマツカ、ドジョウ、コイ、ナマズ、カワヨシノボリ、アブラハヤ、タモロコ、メダカ
蛇ヶ洞川	6 種類	オイカワ、カワムツ、ドジョウ、カワヨシノボリ、シマドジョウ、メダカ

4. 生活排水対策啓発事業

本市では、平成 3 年から生活排水による水質汚濁の防止や生活環境の保全のために一緒に活動していただける方を公募し「瀬戸市生活排水クリーン推進員」としてご活躍していただいています。

3 騒音、振動の状況

1. 主要道路の騒音、振動調査結果と目標との適合状況

市は、生活環境に関する調査の一つとして、市内の国道3路線4地点において、道路交通騒音・振動の測定を行っているほか、騒音規制法、振動規制法及び県民の生活環境の保全に関する条例に基づいて、工場等の騒音・振動の発生源や工事等に伴う騒音・振動の発生について届出の提出を受けています。

近年は、騒音に関する苦情は減少しているものの、公害苦情のうちに占める割合は約16パーセントとなっています。

道路交通騒音・振動の測定結果は、すべての地点で要請限度を達成しています。

①西原町 国道363号（準住居地域）
平成22年2月23日～26日測定

区分	騒音		振動	
	昼間	夜間	昼間	夜間
測定値	71	65	30	25
評価 (要請限度)	○ (75)	○ (70)	○ (65)	○ (60)
評価 (環境基準)	× (70)	○ (65)	—	—

②山口町 国道155号（準住居地域）
平成22年2月13日～16日測定

区分	騒音		振動	
	昼間	夜間	昼間	夜間
測定値	70	66	39	38
評価 (要請限度)	○ (75)	○ (70)	○ (65)	○ (60)
評価 (環境基準)	○ (70)	× (65)	—	—

③古瀬戸町 国道248号（準住居地域）
平成22年2月20日～23日測定

区分	騒音		振動	
	昼間	夜間	昼間	夜間
測定値	72	68	42	37
評価 (要請限度)	○ (75)	○ (70)	○ (65)	○ (60)
評価 (環境基準)	× (70)	× (65)	—	—

④本郷町 国道155号（準住居地域）
平成22年2月27日～3月2日測定

区分	騒音		振動	
	昼間	夜間	昼間	夜間
測定値	70	65	39	33
評価 (要請限度)	○ (75)	○ (70)	○ (65)	○ (60)
評価 (環境基準)	○ (70)	○ (65)	—	—

2. 具体的な取り組みについて

騒音・振動に関して、以下のような取り組みを行っています。

○道路騒音振動

- ・定期測定の実施
- ・啓発の実施

○工場、工事等の騒音・振動関係

- ・届出情報の整理、活用
- ・騒音・振動苦情への迅速な対応
- ・工場、工事等の騒音・振動対策に関するアドバイス

4 公害苦情の状況

1. 公害苦情の現状

市では、市民からの公害に関する苦情について、窓口を設けて処理・調整にあたっています。

公害の発生原因としては、工場や工事に伴う騒音の発生や汚濁水の流出によるもののほか、一般家庭に設置された浄化槽からの悪臭や野焼きについての苦情なども多く、誰しもが公害の加害者・被害者になり得ると言えるでしょう。

事業活動だけでなく、日常の生活においても、近隣の生活環境や周辺の自然環境への配慮が強く求められています。

・平成20年度 公害苦情申立ての件数（公害種類別）

	大気汚染	水質汚濁	土壌汚染	騒音	振動	地盤沈下	悪臭	その他	合計
発生件数	13	24	1	28	2	0	87	13	168
割合(%)	7.7	14.3	0.6	16.7	1.2	0	51.8	7.7	100

・平成20年度 公害苦情申立ての件数（発生原因別）

	製造業	修理工場	鉱業施設等	交通機関	畜産業等	家庭生活	小売業・飲食店	建築土木業	不明	その他	合計
発生件数	51	0	4	4	2	37	7	30	12	21	168
割合(%)	30.4	0	2.4	2.4	1.2	22.0	4.2	17.9	7.1	12.5	100

2. 具体的な取り組みについて

- ・公害苦情の迅速な処理・調整

- ・原因者への助言、指導

- ・広報、周知・啓発の実施

- ・事業者の方へ（例）

事業や工事にあたっての周辺住民への配慮

- ・市民の方へ（例）

野焼きを行わない。

深夜のステレオやアイドリングなど近隣騒音の発生に注意する

浄化槽の点検や清掃などを行う

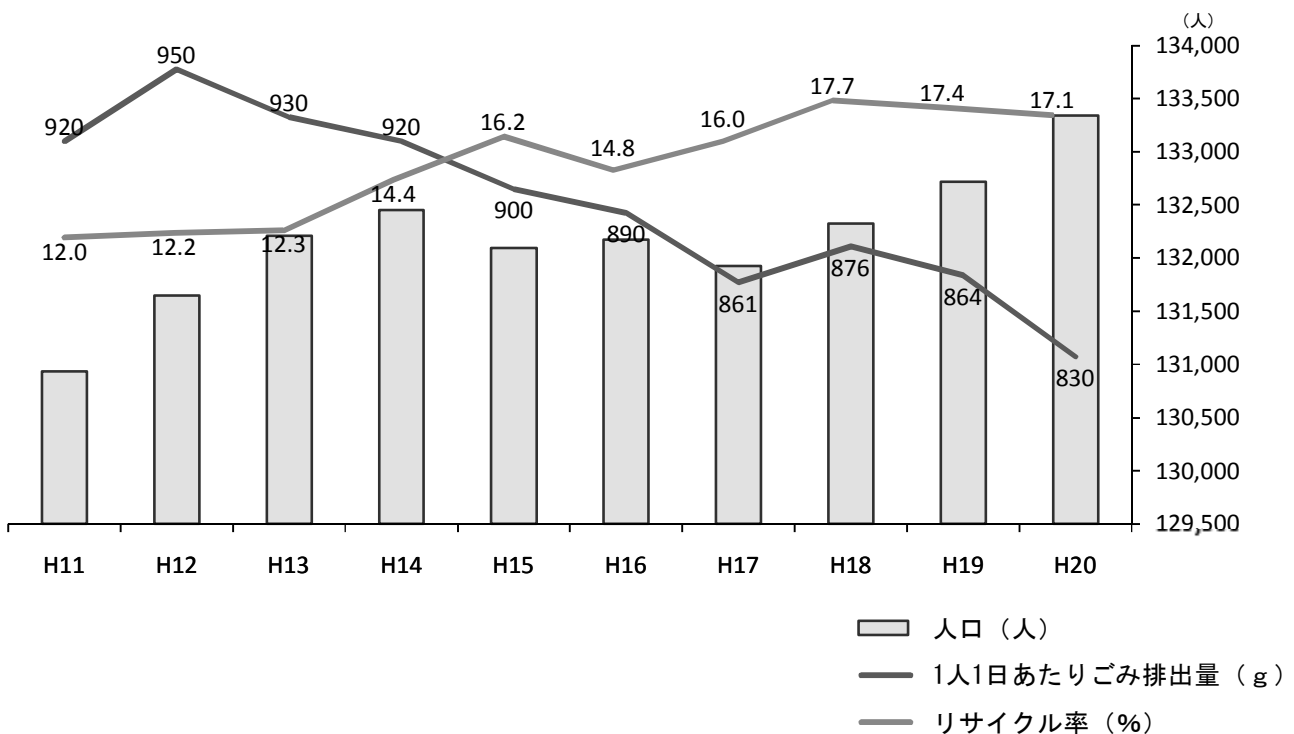
5 廃棄物処理の状況

1. ごみ排出量等の状況

本市のごみ処理は、燃えるごみは週2回、燃えないごみ、粗大ごみは月1回（予約制）収集しています。収集したごみは、尾張東部衛生組合（尾張旭市晴丘町東33-1）で処理されます。資源物（ビン、缶、ペットボトル、紙類、古布）は月2回収集しており、資源リサイクルセンター（平成15年設置）でも常時持ち込みを受け付けています。

これ以外にごみの減量化や適正な処理を実施するため、イベント等での啓発活動や各種補助金による支援を実施しています。

・人口と1人1日当たりのごみ排出量・リサイクル率



・1人1日当たりのごみ排出量に係る目標値及び実績値

ごみ排出量目標値	ごみ排出量実績値 (H20)
800g	830g
評価	×

・リサイクル率の目標値及び実績値

リサイクル率目標値	リサイクル率実績値 (H20)
17%以上	17.1%
評価	◎

5 自然環境、歴史・文化の状況

1. 自然とのふれあい

瀬戸市には、自然公園として指定を受けている区域があります。これらの区域では、さまざまな開発行為等に対して規制があり、すぐれた自然景観を保護し、利活用の促進が図られています。

・自然公園の現状

本市の南部に位置する猿投山から東部山地さらに北部の定光寺にかけての一带には、「愛知高原国定公園」に指定されている区域があります。これは、尾張北東部丘陵地帯の東海自然歩道沿いを中心とした地域について、自然公園法に基づきすぐれた自然の風景地を守り、利活用の促進を図ることを目的としたものです。

・愛知高原国定公園（自然公園）指定区域

区 分		面 積(ha)
特別地域	特別保護地区	0
	第1種特別地域	54
	第2種特別地域	198
	第3種特別地域	1,647
	小 計	1,899
普 通 地 域		498
合 計		2,397

・海上の森自然環境地域

愛知県自然環境保全地域は、自然環境の保全及び緑化の推進に関する条例の規定によって知事が指定するもので、すぐれた天然林や貴重な動植物の自生地など貴重な自然環境を有する地域を将来にわたって保全しようとするものです。

海上の森自然環境保全地域は、周伊勢湾要素植物をはじめとする貴重な動植物がまとまってみられる区域であり、特に重要度の高いエリアについて流域単位を基本に将来にわたって保全するため、愛知県が13番目の県自然環境保全地域として指定したものです。なお、100ha以上の区域面積は、県下で最大です。

(1) 区域の概要

篠田川流域、海上川流域及び屋戸・寺山川流域の一部

(2) 区域の地種区分と特別地区及び野生動植物保護地区の指定

自然環境の保全及び緑化の推進に関する条例では、自然環境保全地域のうち、その地域の生態系維持のため特に保全が必要な地域を特別地区に指定し、さらに、特別地区内のうち特定の動植物等の保護のため必要な地域を野生動植物保護地区に指定することができます。海上の森自然環境保全地域においては、以下のとおり特別地区及び野生動植物保護地区が指定されています。なお、特別地区以外の地区は普通地区です。

・海上の森自然環境地域

特別地区 野生動植物保護地区	指定の考え方及び区域	保護する野生動植物
篠田川特別地区 20.58ha 川の中心から左右 20mの区域 1.36ha	地下水の湧出を基盤として、水辺、湿地に依存する動植物が川の周囲に集中して生息生育している。 野生動植物保護地区は、動植物が集中している川の周囲の区域とする。	動物 アズマモグラ、ホトケドジョウ、ギフチョウ、ナベブタムシ 植物 シデコブシ、サクラバハノキ
四ツ沢北東部特別地区 3.17ha 沢の中心から左右 20mの区域 3.17ha	県内では生息地が極めて限定されている植物が生息している。 野生動植物保護地区は、植物が生育する沢を中心とした区域とする。	動物 アズマモグラ、ギフチョウ 植物 ビワコエビラフジ、スマレサイシン、コタチツボスミレ、エンシュウムヨウラン
屋戸川・寺山川特別地区 24.85ha 川の中心から左右 20mの区域 6.41ha	地下水の湧出を基盤として、水辺、湿地に依存する動植物が川の周囲に集中して生息生育している。 野生動植物保護地区は、動植物が集中している川の周囲の区域とする。	動物 アズマモグラ、カワバタモロコ、ホトケドジョウ、ギフチョウ、ヒメタイコウチ、ハッチョウトンボ 植物 シデコブシ、サクラバハノキ、モウセンゴケ、トウカイコモウセンゴケ、ミミカキグサ、ホザキノミミカキグサ
特別地区計 48.60 ha 計 10.94 ha		
普通地区	79.25 ha	

3. 歴史・文化財

本市は、伝統的な窯業のまちです。そのため市内には、やきものに関するものはもちろん、それ以外の有形・無形の文化財も数多く遺されています。

市内の指定文化財等は国指定 10 件・県指定 10 件・市指定 46 件の計 66 件となっています。有形文化財は 60 件あり、このうち工芸品が 19 件、建造物 12 件で、その他に彫刻品や名勝地、植物の天然記念物なども指定を受けています。また、無形文化財は 6 件で、ほとんどが陶芸に関する技法です。「せともの」のまちである本市には、いたるところに遺跡が存在しており、そのうち 4 件が文化財の指定を受けています。

・瀬戸市内の指定文化財件数

区分	件数	種別	件数
国指定	10件	建造物	2
		工芸品	6
		有形民俗	1
		史跡	1
県指定	10件	彫刻	2
		工芸品	5
		考古資料	1
		工芸技術	1
		有形民俗	1
市指定	47件	建造物	10
		絵画	1
		彫刻	2
		工芸品	8
		典籍	1
		歴史資料	6
		古文書	3
		工芸技術	4
		有形民俗・無形民俗	2
		史跡	3
		名勝	2
		天然記念物	2
		無形民俗	1
		有形民俗	1

6 環境学習・環境教育、普及・啓発の状況

1. 瀬戸市環境パートナーシップ事業者会議

平成18年3月から環境基本計画（平成12年3月策定）の見直しのために設置した市民、事業者、庁内のワーキング会議でそれぞれの立場から瀬戸市の環境についての取り組みを検討しました。その後、市内事業者が一緒になって地域の環境を考えることが重要であるという認識が高まり、設立準備会を経た後、平成19年6月に設置されました。

当会議では、地域の環境保全活動を推進し、環境に関する情報交換、異業種間での交流及びネットワークづくりの推進を目的としています。今年度は、平成20年3月25日から市内全域で実施したレジ袋の有料化の一層の推進、市内事業者の環境配慮行動を推進するための制度の調査・研究、市民生活展における環境フェアのブース出展及びまるっとごみゼロ大作戦を実施しました。

(1) 会議の会員

市内に住所を持つ又は、市内に活動基盤を有し、趣旨に賛同する事業者で構成されております。現在、市役所を含め、27事業者で活動しております。

1	(有)アースプランニング	15	(株)トーエネック名東営業所
2	(株)アルバ・(有)サーブ	16	中島碍子(株)
3	石川会計事務所	17	日本ハム中部圏営業グループ
4	イオン(株)ジャスコ瀬戸みずの店	18	富士特殊紙業(株)
5	(株)エコ・コンシェルジュ	19	みうら書店
6	(株)尾張東部放送	20	(株)三重交通第一旅行会
7	河村電器産業(株)	21	(有)ミツバ電陶製作所
8	ギャラリー太陽	22	(株)ヤマナカ
9	自然景観設計舎	23	山増電機製陶(株)
10	瀬戸商工会議所	24	(株)ユーストアー菱野店
11	瀬戸信用金庫	25	豊精密工業(株)
12	(株)TGケラー	26	ユニー(株)アピタ瀬戸店
13	東邦ガス(株)瀬戸営業所	27	瀬戸市役所
14	トーエネック(株)瀬戸営業所		

(2) レジ袋の有料化事業

愛・地球博の開催の3年目にあたる平成20年3月25日から、市全域で15社22店舗でレジ袋の有料化を実施しました。4月1ヶ月間のレジ袋のお断り率としては、全体平均88%で、約9割の方々がマイバックを利用するなど、レジ袋を購入されていないという結果になりました。

また、必要諸経費を除いた後のレジ袋を販売したことで得られる販売収益金は、環境保全活動や地域貢献活動に還元することになっております。

(3) 環境配慮事業所認定制度について

市内の事業所の環境配慮行動を推進するため、ISO14001の簡易版、認定制度の調査、研究を行なっています。今年度は、環境パートナーシップ事業者会議の会員6名及び事務局2名からなる委員会を設置し、先進事例の調査・研究を行ないました。

(4) 市民生活展での環境フェアについて

平成20年10月11日(土)に行なわれた市民生活祭での環境フェアにおいて、事業者会議会員によるブース出展、事業者会議のPR、レジ袋有料化事業のPRを行ないました。

この環境フェアに来場していただいた市民200名に対してシマトネリコ、オリーブの苗木を配布しました。

事業者名と展示内容

1	RADIO SANQ FM84.5	5	日本ハム(株)中部圏量販部
	蔵治先生の環境講座の紹介		日本ハム(株)の環境の取り組み
2	エコマネーPR	6	東邦ガス(株)瀬戸営業所
	EXPOエコマネーのPR		低炭素社会に向けて
	瀬戸信用金庫		(株)トーエネック瀬戸営業所
3	生ごみ再利用の堆肥	7	地球環境にやさしい太陽光発電システムと
	(株)エコ・コンシェルジュ		オール電化
4	エコクイズ大会	8	環境パートナーシップ事業者会議
	レジ袋削減/チェーンストア協会		環境パートナーシップ事業者会議の紹介
	レジ袋無料配布中止の取り組み		



(5) まるっとごみゼロ大作戦

5月30日(530)から環境月間の6月にかけて、事業者会議会員を中心に清掃活動を実施しました。(参加事業者:11社、延べ人数:821人)

2. 環境教育の推進

(1) こどもエコクラブ

こどもたちの将来に関わる環境の保全を考える中で、こどもたち自らが地域や仲間と一緒に
なっていく地域環境や地球環境に関する学習の取り組みや、具体的な活動をする団体を支援するも
のです。親子や学校単位で登録をしたグループがさまざまな活動を行っています。

メンバーの登録は随時受け付けています。

<登録数>

6団体 (メンバー84名/サポーター25名)

(2) 定光寺 森の自然学校

小中学生の親子が参加し、年6回のプログラムと夏の一泊二日のキャンプを開催しました。「定
光寺 森の自然学校」では、季節ごとのネイチャーゲームや、森の中でさまざまな工夫を凝らし
た遊びを見つけたりしながら、一年間の自然の移ろいを感じ取ることができます。会の運営、ま
たスタッフとして地域の大人たちが携わっています。

会員の募集は毎年広報4月1日号に掲載します。

<参加者>

22世帯 63名

日	時	タ イ ト ル	内 容
5月18日(日)		みどりの森であそぼう！	入校式 名札作りとネイチャーゲーム
6月22日(日)		川のガサガサ探検隊 & 芋さし	川の中をのぞいてふれて感じよう！ 畑に芋の苗を植えよう
8月23日(土) ~24日(日)		夏の森 “わくわくキャンプ”	朝から晩までつくったり食べたり遊ん だりのスペシャルお楽しみ三昧！！
10月26日(日)		色づく森であそぼう！ & 芋ほり	秋の森の中でどんぐりレストラン開店 です
12月14日(日)		冬の森であそぼう！	自然のめぐみで楽しもう
1月18日(日)		風とあそぼう！	マイ凾をつくろう！
3月8日(日)		いつのまにか春の森	春の森フィールド散策&お楽しみ

(3) スターウォッチング

星空を観察するという身近な方法を通じて大気環境の状態を調査し、大気環境保全の重要性を多くの方々に考えていただく機会とするため、「星っこクラブ」の活動の中で、年2回のスターウォッチング（星空継続観察）を行っていただきました。

<参加者>

20年8月 5日 28名

21年1月27日 18名

(4) 出前授業

小中学校の授業に講師として職員の派遣を行いました。

テーマ	内容	対象
レジ袋削減の取り組み	その背景と効果、今後の流れ	深川小学校6年生
瀬戸市に生息している生物	瀬戸市に生息している生き物を知ること 自然に関心を持ち、大切にすることを育む	陶原小学校6年生
生活排水と河川の水質について	水質パトロール隊の一環として、生物と水質の調査をし、生活排水対策について学習する	道泉小学校4年生
環境から迫る！私たちの水野(水野川、エネルギー、地球温暖化、森林、ごみ&リサイクル)	総合学習の時間で調べた学習内容にそった各テーマの講義を行う	水野小学校5年生
親子でゴミを学ぶ	親子学級でゲームを通じてゴミについての理解を深める	陶原小学校4年生
ゴミの分別とクリーン作戦	分別学習と登校時にゴミを拾い、そのゴミを用いて分別体験をする	水野中学校全校生徒
施設見学	資源リサイクルセンター及びエコプラザの見学	深川小学校4年生 西陵小学校4年生 道泉小学校4年生 陶原小学校4年生 祖母懐小学校4年生